

10月は3R 推進月間 3つの「R」で 環境にやさしい 社会の実現を

Reduce
Reuse
Recycle

長門市清掃工場リサイクル・破碎施設

3Rとは、「ごみ発生抑制（Reduce）」「再使用（Reuse）」「再資源化（Recycle）」の3つの頭文字をとったものです。
3Rは限りある資源を有効に使い、環境への負担を少なくする「循環型社会」のキーワードとなっております。これに取り組むことで資源の有効活用とごみの減量化が図られ、地球温暖化の防止につながります。

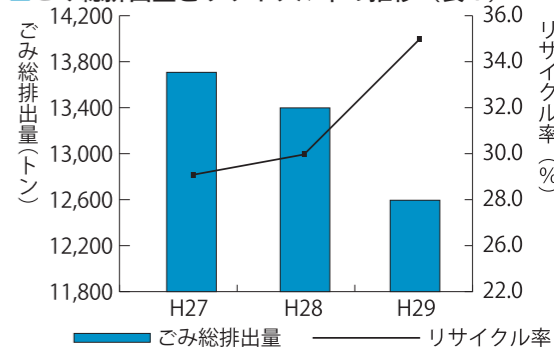
■長門市のごみの状況

平成29年度のごみ総排出量（表1）は1万2,615トン（産業廃棄物を除く）で、市民一人当たり1日約999グラムを排出しています。また、排出量に占める資源化量の割合（リサイクル率）は約34.7%となっております。

長門市では、平成29年4月より新たな分別収集を開始しましたが、市民の皆さんの協力によりごみの減量とリサイクル率の向上がみられます。市収集ごみ量比較表（表2）では、平成28年度に比べて平成29年度は、燃えるごみ、燃えないごみとも17%減量、合計で7%、724トン（大型トラック73台分）のごみの減量につながっています。環境への負担を少なくする「循環型社会」を実現するためには、ごみの減量とリサイクル

推進の取組が必要であり、これには市民の皆さんの協力が不可欠です。普段から「3R」を意識して、ごみ減量とリサイクル推進に協力をお願いします。

■ごみ総排出量とリサイクル率の推移（表1）



■市収集ごみ量比較表（表2）

ごみの種類	（単位：t）			
	平成28年度	平成29年度	増減（増減率）	
燃えるごみ	7,415	6,157	△1,258（17%減）	
燃えないごみ	367	303	△64（17%減）	
粗大ごみ	459	491	32（7%増）	
小計①	8,241	6,951	△1,290（16%減）	
資源ごみ	缶	53	54	1（2%増）
	ビン	210	217	7（3%増）
	ペットボトル	44	56	12（27%増）
	その他資源ごみ（古紙、衣類など）	2,452	2,601	149（6%増）
	プラスチック製容器包装類	7（試行期間2ヶ月）	301	H29から分別開始
	紙製容器包装類	3（試行期間2ヶ月）	106	H29から分別開始
小計②	2,769（試行期間含む）	3,335	566（20%増）	
合計（①+②）	11,010	10,286	△724（7%減）	

■3Rを実践してみよう

○リデュース（ごみの量を減らす）

- ・ 買い物の際にはマイバッグを持参しレジ袋は断りましょう
- ・ 商品を購入する際、過剰包装や不要な包装は断りましょう

○リユース（繰り返し使う）

- ・ 詰め替え容器がある商品は、詰め替え容器を選びましょう

○リサイクル（資源として活かそう）

- ・ 資源化できるものは分別しましょう

■ごみ減量

ワンポイントアドバイス

家庭から排出されるごみの約40%は生ごみです。生ごみとは調理くず、食べ残し、手つかずの食品などで、多くの水分を含んでおり、簡単な水切りを行うことや不要な食品の購入を控えることで、ごみの減量につながります。

■生ごみ処理機

コンポスト容器の購入補助

生ごみ減量化を推進するために家庭用生ごみ処理機、コンポスト容器の購入補助を行っています。申請は本庁生活環境課、

各支所で受け付けていますので利用してください。

なお、補助を申請する場合は事前に手続きが必要です。

■リサイクル掲示板

家庭から出るごみ削減と不用品の有効活用を図るためリサイクル掲示板を設置しています。情報の掲示は本庁生活環境課、各支所・出張所、ホームページで行っています。市内在住者で、不用品を譲りたい人、譲ってほしい人は活用ください。

■ごみ出しルールを守りましょう

次の3点のごみ出しルールについて、協力をお願いします。

- ①ごみの搬出は、収集日当日の決められた時間までに
- ②資源ごみは決められたコンテナに分けて
- ③ごみは居住地区の決められたごみステーションへ

※ごみステーションは各地区で清掃・管理しています。ルール・マナーを守って正しく使いまししょう

■問い合わせ

生活環境課廃棄物対策係

TEL 23・1249

分別したごみはどのようにリサイクルされるの？

資源ごみがリサイクルされるまで

